

第34回蒲郡市地域公共交通会議 議事録

1	日時	令和4年3月24日(木)	午後2時30分～3時30分	
2	場所	蒲郡市役所 本館	303会議室	
3	出席者	委員	愛知工科大学機械システム工学科教授	村上新
		委員	名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授	松本幸正
		委員	愛知運輸支局	山内三奈(欠席)
		委員	愛知県都市整備局交通対策課	澤木徹
				(代理 八木郁也)
		委員	総代連合会会長	廣中康人
		委員	形原地区公共交通協議会	天野忠則
		委員	東部地区公共交通協議会	金沢福美
		委員	西部地区公共交通協議会	竹内良一
		委員	三谷地区公共交通協議会	小田邦裕
		委員	大塚地区公共交通協議会	山口修
		委員	蒲郡市身体障害者福祉協会	金沢孝一
		委員	蒲郡市老人クラブ連合会	白石よね子
		委員	蒲郡市社会福祉協議会	鵜飼秀好
		委員	蒲郡市小中学校PTA連絡協議会	市川貴一
		委員	蒲郡商工会議所	小池高弘
				(代理 井澤康彦)
		委員	蒲郡市観光協会	杉山和弘
		委員	名鉄バス株式会社	大野淳
		委員	豊鉄タクシー株式会社	長縄則之
		委員	株式会社かね一自動車	天野一美
		委員	名古屋鉄道株式会社	中嶋久(欠席)
		委員	公益社団法人愛知県バス協会	小林裕之
		委員	愛知県タクシー協会	深谷克巳(欠席)
		委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会	壁谷政志
		委員	愛知県蒲郡警察署	田中祥浩
		委員	東三河建設事務所	渡會竜二(欠席)
		委員	蒲郡市長	鈴木寿明
		委員	蒲郡市市民生活部長	飯島伸幸
		委員	蒲郡市総務部長	平野敦義
		委員	蒲郡市企画部長	大森康弘
		委員	蒲郡市健康福祉部長	岡田隆志(欠席)
		委員	蒲郡市建設部長	鈴木伸尚
		委員	蒲郡市産業振興部長	池田高啓

委員	蒲郡市都市開発部長	宮瀬光博
事務局	蒲郡市交通防犯課長	鳥居昭裕
	蒲郡市交通防犯課係長	齋藤裕記
	蒲郡市交通防犯課主事	石川雄策
	蒲郡市交通防犯課主事	井本博子
	地域公共交通網形成計画推進事業受託事業者	三菱UFJリサーチ&コンサル
	ティング株式会社	1名

4 傍聴人 3人

5 議題

(1) あいさつ

6 報告事項

(1) 蒲郡市内公共交通の利用状況等について・・・・・・・・・・【資料1—1～4】

(2) 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について・・・・・・・・・・【資料2】

(3) 名鉄バスダイヤ改正について・・・・・・・・・・【資料3】

7 協議事項

(1) 令和4年度蒲郡市地域公共交通会議事業計画、予算（案）について
・・・・・・・・・・【資料4—1、4—2】

(2) 蒲郡市地域公共交通事業の推進に係る行動『指針』の一部見直しについて
・・・・・・・・・・【資料5】

(3) 三谷地区支線バス停留所の移設について・・・・・・・・・・【資料6】

8 その他

9 議事内容

(1) 開会

・ 出席委員が28名であり、定足数に達しているため、蒲郡市地域公共交通会議設置要綱第7条第2項の規定により会議が成立すること、本日の会議が公開となっており傍聴人がいること及び地域公共交通計画推進事業受託事業者として三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社に参加していただいていることが事務局より報告された。

(2) 議題

ア あいさつ

蒲郡市長より、新型コロナウイルス感染症について1月21日から蔓延防止等重点措置が始められ、3月21日に解除となった。本市の状況も2か月ぶりに感染者が1桁になるなど落ち着いてきた状況である。コロナ禍でも公共交通事業は、市民の皆様の生活の足であり、また、観光利用される旅行者の足として無くてはならないもの。市民の皆様と、関係者の皆様、交通事業者の皆様と連携して進めていきたい。

本日は、協議事項として、令和4年度蒲郡市地域公共交通事業計画、予算（案）を始めとして、3件予定している。それぞれのお立場から積極的なご意見をいただき、

よりよいものにしていきたい。どうぞよろしくお願い致しますとのあいさつがあった。

(3) 報告事項

- ・ 議長より本日の議事録署名人として2名の委員が指名された。

ア 蒲郡市内公共交通の利用状況等について

- ・ 事務局より資料1-1～4に基づいて報告が行われた。

〔質 疑〕

なし

イ 地域公共交通確保維持改善事業の二次評価結果について

- ・ 事務局より資料2に基づいて報告が行われた。

〔質 疑〕

なし

ウ 名鉄バスダイヤ改正について

- ・ 事務局および名鉄バス株式会社より資料3に基づいて報告が行われた。

〔質 疑〕

(委 員)

- ・ ダイヤ改正について、一部なのか。全体の調整も行うのか。朝から夜までか。

(事業者)

- ・ 資料の2枚目からの時刻表で運行する。3月22日にホームページで発表しているが、まだ検索はできない状態。

(委 員)

- ・ 取組みありがとうございます。ダイヤの見直しは調整事項が多く難しいことがある。大きな変化で、評価したいこと。次の一歩として、同じ料金になる、定期を持っているとどちらにも乗れるというような取組みになるように期待したい。次の一歩を進めてほしい。

(4) 協議事項

ア 令和4年度蒲郡市地域公共交通会議事業計画、予算(案)について

- ・ 事務局より資料4-1、4-2に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

(委 員)

- ・ 1日乗車券の導入について協議を行うとなっている。前回の会議で協議事項として具体的な事項として示された。4年度に継続協議になっている点について説明をお願いしたい。

(事務局)

- ・ 引き続き協議している状況。バス路線との重複部分について協議を進めているためこのような記載としている。

(委員)

- ・ コミュニティバスは、路線バスが廃止された不便地域の対策で進められたもの。コミュニティバスは、事業計画を定める時に、重複を避けて計画を作っている。重複しているというのは考えられない。
- ・ 市民病院に行くには乗り換えないといけない。運賃も倍払わないと利用できない。1日乗車券は非常に期待している。チラシを配る準備までしていた。今回は議題にも上っていない。ぜひ、1日も早く実現をお願いしたい。

(事務局)

- ・ ありがとうございます。地域の意見として受け止めさせていただき、議論を進めさせていただきます。

(委員)

- ・ 資料の裏側が交通計画記載の事業内容。ほぼ計画通りに進んでいると思う。
- ・ 福祉移動支援事業とレンタサイクル事業がのっていない。他の部署の事業として実施し、事業予算に入っていないと理解しているが、そのような考えでよいか。

(事務局)

- ・ 福祉移動支援事業は福祉課が担当し、そちらで令和4年度も実施すると聞いている。レンタサイクルは名鉄電車の利用促進として形原駅・西浦駅に、観光客向けとして蒲郡駅ナビテラスに設置しており、こちらは観光協会が対応し、事業推進している。

イ 蒲郡市地域公共交通事業の推進に係る行動『指針』の一部見直しについて

- ・ 事務局より資料5に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

〔質疑〕

なし

ウ 三谷地区支線バス停留所の移設について

- ・ 事務局より資料6に基づく説明が行われ、全会一致で承認された。

〔質疑〕

なし

(5) その他

ア 観光振興におけるチョイソコの取組みについて

- ・ 事務局より観光振興として蒲郡市観光協会にて、観光客向けに12月25日から1月9日まで実施され、利用者は7名であったとの説明が行われた。

イ その他

(委員)

- ・ チョイソコの実証実験について、今後いろんな意味で、市民、観光客、さらにはインバウンドにも期待できる事業である。地元の交通事業者と連携して事業推進していきたい。
- ・ 今回の資料にはMaaSという言葉がないが、他の自治体では行政と一体となってMaaS

について取組を進めている。これから MaaS に軸を置きながら、2 次交通の推進、スマホを使用した交通手段を、いつでもどこでも利用できるようになると思う。脱二酸化炭素、水素自動車の導入などを含めて、いろんな効果があると思う。

- ・ 自転車の活用、シェアリングの自転車を含めて、市内を自由に移動できる環境として MaaS の推進を、これからの社会のキーワードとして進めていただきたい。

(委員)

- ・ 昨年 11 月、形原小学校の 4 年生が、社会科の授業の中で、くるりんバスについて勉強してくれた。3 分の 2 の生徒が実際にバスを利用してくれた。雪が降った時には、あじさいくるりんバスと、雪に書いてくれていた。地域での定着が進んでいると感じたことを報告させていただいた。

(委員)

- ・ 子どもを味方につけるのは良い戦略。高齢者向けの乗り方教室などもされるが、将来のお客さんになる子どもたちを味方につけるという取組みをぜひ他地区でも進めてほしい。
- ・ MaaS については、とてもよい取組みだが、この場で取組を紹介してもらっていない。本来は、市、交通事業者と連携して進めてもらえれば、もっと良いものになったと思う。観光客だけでなく市民の方にも利用してもらえるようなものがよい。実証実験として、十分な調整ができず進められたのではないか。次回以降は地域の方々とうまく調整、連携しながら実施してほしい。
- ・ 愛知県、民間の交通事業者において、MaaS を進めている。連携、活用をふまえながら蒲郡市のラストマイルについて、どのような形がよいのか、一緒に検討していただければと思う。市の交通、観光部局とも連携しながら取り組んでいただきたい。

(市長)

- ・ MaaS について、市も必要だと認識している。住民、観光客への配慮も視野に入れながら、交通会議の皆さんとアイデアを出し合い、積極的に進めていきたい。
- ・ 名古屋鉄道株式会社、西尾市と連携合意して事業を進めている。観光資源も多くある。連携を取りながら、交通、観光施策を進める。ゼロカーボンなどの未来への取組みを進めている。公共交通は関連するもの。
- ・ 本当によい議論をしていただいている。引き続きよろしくお願い致します。

(事務局)

- ・ 次回の地域公共交通会議は 6 月の開催予定との連絡を行い会議は終了した。

以上、議事の正確を証するため署名押印する。

蒲郡市地域公共交通会議委員

印

蒲郡市地域公共交通会議委員

印
